

## 「魚津の三大奇観と歴史探訪」

| 概 要  |   |
|------|---|
| 講 師  | 石須秀知学芸員（魚津埋没林博物館）<br>的場茂晃学芸員（魚津歴史民俗博物館）<br>伊串祐紀学芸員（魚津水族博物館） |
| 主 催  | 富山県・日本海学推進機構  |
| 後 援  | 魚津市教育委員会  |
| 協 力  | 魚津埋没林博物館、魚津歴史民俗博物館、魚津水族博物館                                  |
| 日 時  | 平成23年10月6日（木）   |
| 場 所  | 魚津市内  |
| 受講者数 | 17名   |

9:00

魚津埋没林博物館正面入口に集合。  
受付、オリエンテーション。

9:10

魚津埋没林博物館を見学（石須学芸員による案内・解説）



魚津埋没林は、約2,000年前、片貝川の氾濫によって流れ出した土砂がスギの原生林を埋め、その後海面が上昇して現在の海面より下になったと考えられています。写真は発掘された当時のまま保存されている、水中展示館の埋没林。地下から見ると写真のような幻想的な埋没林が見られます。



乾燥展示館に展示されている埋没林は、直接手で触れて感触を確かめることができます。



10:10

**まち歩き（的場学芸員による案内・解説）**

魚津埋没林博物館～魚津港～諏訪神社～てんこ水の井戸～米騒動発祥の地（旧十二銀行の米倉）～上杉謙信の歌碑～魚津城址～万灯台（江戸時代の魚津港の灯台）→【バスで移動】→海の駅「蜃気楼」

■魚津港付近



「たてもん」の保管場所を見学しました。残念ながら「たてもん」は別の場所に移されていて見ることはできませんでした。

7基の「たてもん」が県の有形民俗文化財、魚津のたてもん行事が国の重要無形民俗文化財の指定を受けています。

■諏訪神社



「たてもん祭りの神社」、「蜃気楼の見える神社」といわれています。

■てんこ水の井戸

魚津市街地の中心部を流れる鴨川では、川底から透き通った清水が湧き上がっています。片貝川の冷たく澄んだ伏流水が湧き出ているもので、盛り上がり湧き出る形から「てんこ水」と呼ばれています。地下水の湧き出てくる川底に桶・土管をかぶせ、その水を竹樋や土管で導水し、水道が敷設されるまで鴨川流域のほとんどの家で飲用水や炊事、洗濯に使用されてきました。暮らしとのかかわりは古く、江戸時代初期から利用されていました。

（右の写真）今も残されている土管の「てんこ水の井戸」。民家が立ち並ぶ中にさりげなくありました。

（左の写真）写真では解りづらいですが、今も川の中に土管が残っています。



■米騒動発祥の地（旧十二銀行の米倉）



米倉の反対側

大正七年（1918）、おりからの米価高騰に苦しんでいた漁師の主婦ら数十人が、米の積み出しをおこなっていた大町海岸の十二銀行の米倉前に集まり、米の積み出しをやめるよう要求し、このため米の搬出は中止されました。

この事件は、地元紙により富山県内に大きく報道され、水橋、滑川、岩瀬、泊、生地など沿岸部で次々と米騒動がおこりました。



さらにこの騒動は1道3府32県に及び、当時の内閣が総辞職に追いこまれるという大きな社会問題にまで発展しました。

■上杉謙信の歌碑 ■魚津城址碑

大町小学校内にある上杉謙信の歌碑や魚津城の石垣の跡を見ながら、魚津城の落城にいたるまでの歴史などを解説していただきました。



■万灯台（江戸時代の魚津港の灯台）



魚津港最初の灯台として、暗夜の航路を守り、台中に地藏菩薩を安置して海上安全を祈願していました。魚津港の繁栄を支えた史跡です。

12:00

海の駅「蟹気楼」にて昼食・休憩



魚津港で水揚げされた新鮮な魚介類や特産品などが販売されていました。

12:50

バスで魚津水族館に移動

13:00

魚津水族館を見学（伊串学芸員による案内・解説）  
富山湾の魚について詳しく解説していただきました。



魚津水族館は歴史が古く、初代は日本海側に最初に出来た水族館です。現在は三代目。富山県の急流に住む淡水魚から日本海沿岸、沖合そして深海にすむ生物、世界各地の珍しい魚や面白い習性をもつ生物たちも見ることが出来ます。

14:20

魚津水族館レクチャーホールにて本日のふりかえり、アンケート記入

14:30

解散

## 印象に残った活動地（受講者アンケートより）

### ア、魚津埋没林博物館

- ・数万年前の樹木が腐らずに残っている事がやはり不思議。自然の偉大さを感じた。
- ・初めて見て驚きを覚えた。スゴイという感じ。
- ・県内にいながらなかなか再訪することが出来なかったが、今回来られてよかった。
- ・埋没林についてのわかり易い説明が聞けたのでよく理解できた。蜃気楼を実際に見てみたいと思った。

### イ、魚津港～諏訪神社～てんこ水の井戸

- ・諏訪神社について、見晴らしのよい海を前にして新鮮な感じがした。移転の歴史などを知ることができてよかった。
- ・幼い頃海辺で泳いだ帰り際に、井戸水で身体を洗い、おいしい真水をたっぷり飲んで帰る慣わしだったことが思い出された。
- ・てんこ水の井戸について、川のせせらぎの下に太い管が通っていて驚いた。川の湧水を引き、それを生活に生かしている土着の住民、井戸端会議をしていたという楽しい光景などが思い浮かべられ、井戸のもつ感動が一重にあると思った。

### ウ、米騒動発祥の地（旧十二銀行の米倉）

- ・話しに聞いていたものの実物を自分の目で見られて感動した。
- ・米騒動は円満のようであったが、報道がきっかけで大騒動につながったとのこと、これまで思っていたことと少し違っていたことがわかりもっと勉強したいと思った。
- ・女性たちの騒動として世間では思われているが、米倉を打ち壊したのではないと知って安心した。

### エ、上杉謙信の歌碑～魚津城址碑

- ・郷土の歴史を思い出した。
- ・学校の屋上で展望できたのは良かった。大町小学校に感謝したい。
- ・魚津城の位置、歴史、戦いの地理的背景もよくわかった。解説がわかりやすかった。

### オ、万灯台

- ・歴史を感じた。
- ・是非これからも十分保存して魚津の名所として欲しいと思った。

### カ、昼食「海の家 蜃気楼」

- ・おいしいお魚が食べられた。
- ・出発の際、ずっと見送っていただいて感激し心に残った。

### キ、魚津水族館

- ・時間をかけて見る事ができて良かった。古い歴史があることを知った。
- ・解説がわかりやすく、よかった。
- ・県下唯一の水族館で、折しも子供たちが来ていてみんな楽しそうに遊んでいた。今後も大切にしていきたいと思った。